

総合防災訓練を行います

問合せ先 市役所生活安全グループ ☎52-1111 (内線322・332)

この訓練は、各防災関係機関の参加協力のもとに、町内会、まちづくり協議会の地震災害に対する実動訓練を行うものです。ぜひ、訓練に参加してください。

とき 9月13日(日) 午前7時30分～9時30分 (予定)

ところ 第1会場…各町内隣組拠点、町内会拠点
第2会場…市内小・中学校 (南中学校は除く)

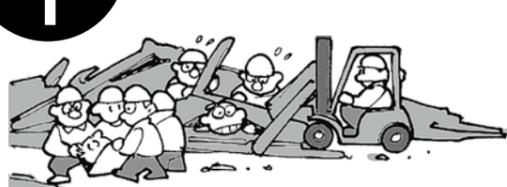
訓練内容 初期消火訓練、情報伝達訓練、安否確認訓練、応急手当訓練、資機材確認・操作訓練、給水訓練など

想定 駿河湾沖、マグニチュード7.8、震度6弱の地震が発生し、各地に死傷者、家屋の倒壊、火災が発生するとともに、道路をはじめライフラインに大きな被害を受けている。

訓練のポイント

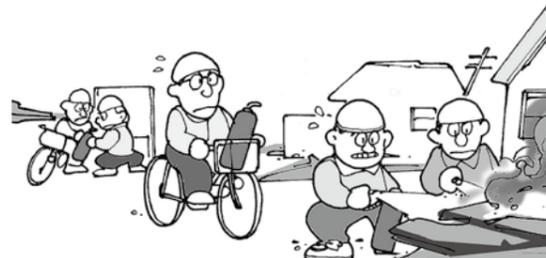
ポイント1 素早い初期消火と救助

町内会の班が主力となり、班の範囲の初期消火と救助活動を行います。



※ 素人の応急消防隊です。無理や危険は冒しません。

町内会拠点には看板と消火器が設置してあります。



見た情報を出し合い、集まった人手と消火器で初期消火にあたります。

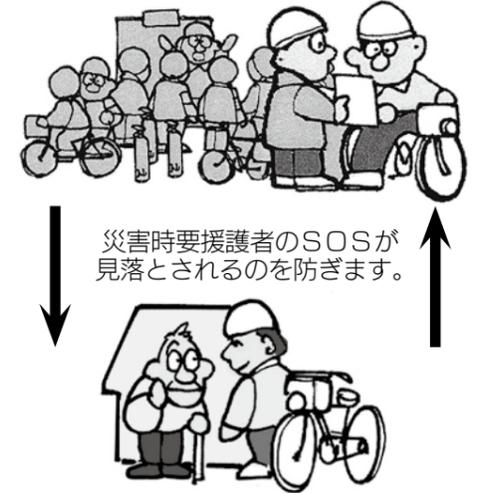
ポイント2 情報の集約→的確な対処

町の被災状況はアマチュア無線を通じて市役所の災害対策本部へ。災害対策本部はさまざまな通信手段を使用して、衣浦東部広域連合消防局へ火災現場を通報！



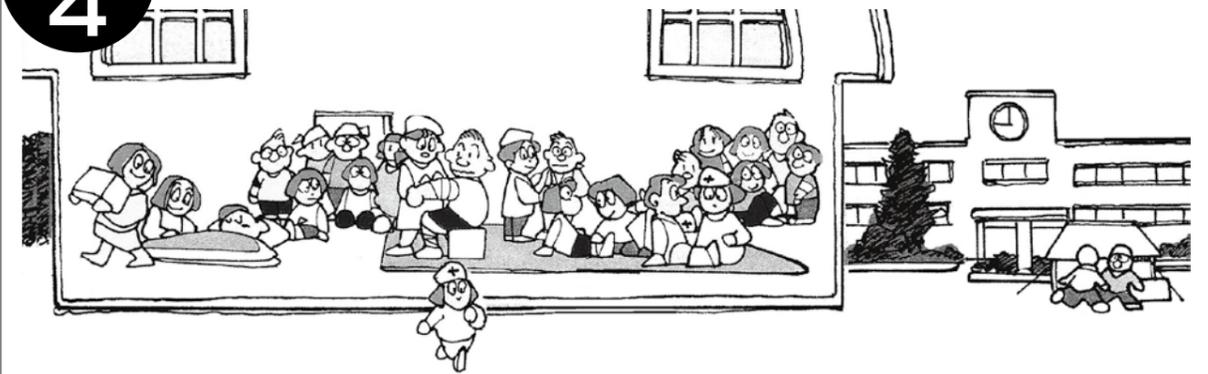
ポイント3 災害時要援護者への支援

隣組拠点の民生委員などから町内会やまちづくり協議会に要援護者の安否確認の依頼が出されます。町内会やまちづくり協議会も近所の要援護者の安否確認を行います。



災害時要援護者のSOSが見落とされるのを防ぎます。

ポイント4 多数のケガ人に早めの応急手当



学校救護所でケガ人を応急手当します。

ポイント5 災害用伝言ダイヤル“171”を実際に体験しよう

訓練当日の午前7時～午後5時までの間、災害用伝言ダイヤル“171”を実際に体験することが可能です。この機会に、操作方法を体験しましょう。

伝言の録音方法

171 にダイヤルする
▼ガイダンスが流れます
録音の場合 1
▼ガイダンスが流れます

伝言の再生方法

171 にダイヤルする
▼ガイダンスが流れます
再生の場合 2
▼ガイダンスが流れます

(×××)×××-××××

被災地内の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。(通話料金が必要です) 他通信事業者の電話からは一部ご利用できない場合があります。

※ 録音された伝言は被災地の方の電話番号を知っているすべての方が聞くことができます。聞かれたくないメッセージを録音する場合は、あらかじめ暗証番号を決めておく必要があります。設定方法等は NTT 西日本までお問い合わせください。